

事務事業名	ふるさと納税推進事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	チャレンジ創生G	
	施策名	〈08〉健全財政の維持		課長名	鳥谷 健二	
	目的対象	市の財政	意図	健全に運営する。	電話番号	0854-40-1011 (内線) 2332
	基本事業	〈023〉積極的な財源確保		担当者名	武田 遼太	
目的対象	予算	意図	財源を確保する。	会計科目	大事業名 企画総務管理事業 中事業名 ふるさと納税推進事業	
				0:1:1:0:0:1 0:5:3:5:2:5		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
本市にゆかりのある方、本市を応援したい方など	①寄附者と寄附金額の増加 ②本市の知名度の向上
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H20 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	雲南市を応援していただける皆様からの寄附金を受入れ、自主財源を確保し、まちづくりを進める。用途を明確にし、PRするほか、寄附受入に関する事務(申込受付、調定・入金確認、御礼状・寄附証明書送付、返礼品送付等)、寄附活用事業の取りまとめ、報告を行う。また、クラウドファンディング(GCF)の仕組みを活用して地域課題解決の促進やNPO支援を行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<ul style="list-style-type: none"> <li>寄附受入に関する事務</li> <li>一括代行業務委託に関する事務</li> <li>寄附活用事業の取りまとめ・予算調整</li> <li>制度の公表、発信・PRの充実</li> <li>NPO法人等支援に関する業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代行業務を行う事業者の一部を市内事業者に変更し、サイトでのPRや返礼品の充実を図った。</li> <li>寄附管理システム「ふるさと納税do」を導入し、寄附受入に関する事務を効率化した。</li> <li>返礼品配送の年度跨ぎを可能とし、定期便の充実を図った。</li> </ul>

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 寄附者数	人	7,258	8,136	9,482	12,500
イ 寄附金額	千円	205,159	235,672	296,178	394,400
ウ クラウドファンディング実施数	件	1	3	3	3
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
・報酬 1,570千円	・役員費 19,617千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
・職員手当 321千円	・委託料 124,526千円		県支出金	千円				
・報償費 1,748千円	・使用料 138千円		地方債	千円				
・旅費 408千円	・寄附金 10,925千円		その他	千円	101,790	114,575	159,569	254,576
・需用費 316千円	計 159,569千円		一般財源	千円	0	0	0	0
			事業費計	千円	101,790	114,575	159,569	254,576

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと会への周知拡大や、返礼品の充実(品目追加)により寄附者の選択の幅が広がり、寄附者数・寄附金額ともに増加した。</li> <li>返礼品ページの改修や広告の活用により、寄附金額が増加した。</li> <li>ふるさと納税ポータルサイト「ふるなび」を追加し、寄附金額が増加した。</li> </ul>
② 事業実施するうえでの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>一層の制度充実により寄附拡大を図るとともに、寄附を活用してまちづくりを積極的に進めるなど成果向上を図る必要がある。</li> <li>返礼品による寄附だけでなく、クラウドファンディングを活用した課題解決をさらに進めていく必要がある。</li> <li>更なるPRの推進に向け、代行業者のプロポーザル選定が必要。</li> </ul>
③ 課題解決に向けた改革改善等	<ul style="list-style-type: none"> <li>工夫を凝らした返礼品を増やすことで、成果向上を図る。</li> <li>クラウドファンディングの活用に向けて、制度拡充や専用ポータルサイトの追加など検討を進める。</li> <li>次年度に向けて代行業者のプロポーザル選定を行う。</li> </ul>